

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年11月13日 (2014.11.13)

【公表番号】特表2013-538611(P2013-538611A)
 【公表日】平成25年10月17日 (2013.10.17)
 【年通号数】公開・登録公報2013-057
 【出願番号】特願2013-526506(P2013-526506)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/0484 (2006.01)

A 6 1 B 5/16 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/04 3 2 0 M

A 6 1 B 5/16

G 0 1 N 33/15 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月25日 (2014.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

音刺激に対するニューロン誘発反応パターンの集団に応じてある時間にわたって被験者の側方脳幹反応状態を検出するように適合された装置であって、

前記時間にわたって同一の音刺激 (10) を前記被験者に繰返し送って前記ニューロン反応パターンを誘発させるように動作する音刺激生成部を備え、前記音刺激 (10) は、未修正の音パルスの第 1 の列 (11) と、修正済みの音パルスの少なくとも 1 つの第 2 の連続的な列 (12) とを備え、前記装置はさらに、

前記ニューロン反応パターンに関連する脳幹反応信号を検出するように動作する検出部を備え、第 1 の脳幹反応信号 (90) は、前記音パルスの第 1 の列 (11) によって引起され、少なくとも 1 つの第 2 の脳幹反応信号 (91) は、前記修正済みの音パルスの第 2 の連続的な列 (12) によって引起され、前記装置はさらに、

前記脳幹反応信号に基づいて情報を格納するように動作する格納部と、

前記音刺激 (10) の各々について前記側方脳幹反応状態 (14) を前記時間にわたって繰返し判断するように動作する制御部とを備え、前記側方脳幹反応状態 (14) は、前記音刺激 (10) の前記第 1 の脳幹反応信号 (90) と前記少なくとも 1 つの第 2 の脳幹反応信号 (91) との比較 (13) により取得される相対的な値である、装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 17】

音刺激に対するニューロン誘発反応パターンの集団に応じてある時間にわたって被験者の側方脳幹反応状態を検出する方法であって、

前記ニューロン反応パターンを誘発させる同一の音刺激を前記時間にわたって前記被験者に繰返し与えるステップを備え、前記音刺激は、未修正の音パルスの第 1 の列と、少な

くとも修正済みの音パルスの第 2 の連続的な列とを備え、前記方法はさらに、

前記未修正の音パルスの第 1 の列によって第 1 の脳幹反応信号を誘発させ、前記修正済みの音パルスの第 2 の列によって第 2 の脳幹反応信号を誘発させるステップと、

前記ニューロン反応パターンに関連する前記第 1 および第 2 の反応信号を検出するステップと、

前記音刺激の各々の前記第 1 および第 2 の脳幹反応信号の比較に基づいて前記側方脳幹反応状態を相対的な値として前記時間にわたって繰返し判断するステップとを備え、前記方法は、常に同一の音パルスである前記音刺激の繰返しの際に、予め定められた固定された音パルスの列を備える前記音パルスの第 1 の列を生成するステップを備え、前記音パルスは前記被験者の脳幹ニューロン活動の活動を判断し、および/または、前記方法は、前記音パルスの第 1 の列の少なくとも 1 つの修正済みの音パルスを備える前記音パルスの第 2 の列を生成するステップを備える、方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3 1】

音刺激に対するニューロン誘発反応パターンの集団に応じてある時間にわたって被験者の側方脳幹反応状態を検出するための、請求項 1 から 1 1 のいずれかに記載の装置などに含まれるコンピュータによる処理のためのコンピュータプログラムを組み入れたコンピュータ可読媒体であって、前記コンピュータプログラムは複数のコードセグメントを備え、前記複数のコードセグメントは、

前記ニューロン反応パターンを誘発させる同一の音刺激を前記被験者に繰返し与えるための第 1 のコードセグメントを備え、前記音刺激は、音パルスの第 1 の列と、少なくとも修正済みの音パルスの第 2 の連続的な列とを備え、前記複数のコードセグメントはさらに、

前記音パルスの第 1 の列によって誘発された第 1 の脳幹反応信号および前記修正済みの音パルスの第 2 の列によって誘発された第 2 の脳幹反応信号を測定するための第 2 のコードセグメントと、

前記ニューロン反応パターンに関連する前記第 1 および第 2 の脳幹反応信号を検出するための第 3 のコードセグメントと、

前記音刺激の前記第 1 および第 2 の脳幹反応信号の比較に基づいて、各々の音刺激について前記時間にわたって相対的な値として前記側方脳幹反応状態を繰返し判断するための第 4 のコードセグメントとを備える、コンピュータ可読媒体。